

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

新潟市

（地域における現状・課題）

- ・休日の部活動指導を外部指導者に依頼するにあたり、専門的知識のある人材の確保や指導者への謝礼等、運営母体の構築や組織編成が難しい。
- ・生徒数の減少に伴い、部活動が設置できなかったり単独校でチームを組めなかったりするケースもあるため、学校の枠に捉われない持続的で広範な活動が求められる。
- ・中学生数や実施種目等が区や学校によって違いが大きいいため、一律同じ方法で地域移行を進めることが難しい。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

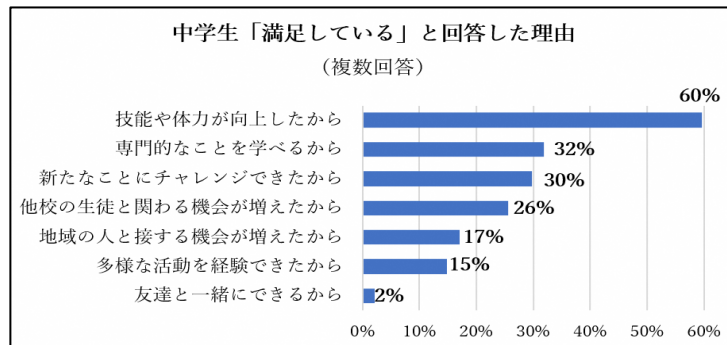
運営主体：地域の指導者 / 市・区陸上競技協会 / 保護者会
 活動場所：各中学校グラウンド、市陸上競技場、県スポーツ公園 等
 指導者：地域指導者 / 協会員 / 教員 / OB
 移動手段：徒歩、保護者による送迎、公共交通機関（路線バス）等

責任主体：各団体の運営主体、事業代表者
 活動種目：サッカー / 陸上競技 / 軟式野球
 会費等：なし（保険加入費は受益者負担）
 保険：800～1,450円（スポーツ安全保険）

（実践研究の成果）

今年度、本市で行った4つのモデル事業で運営主体となったのは、地域の指導者、市・区陸上競技協会、部活動保護者会であり、どの団体も指導者間で密に連携を図るように心掛け、円滑な活動実施を目指してきた。また、指導に当たったのは、地域の指導者、陸上競技協会、兼業願が受理された教職員、部活動OBの方々と、生徒・保護者ともに、活動や指導内容に高い満足度を示している。

また、どの団体でも、大勢の生徒が各種大会で上位に入賞した。



（運営体制図）

